

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	介護職としての経験が浅い職員やグループホームでの勤務経験が初めての職員もいる為、「認知症」について理解の浅い状況が見られる。	「認知症」についての理解を深め日頃のケアやご利用者対応に活かす。	①「認知症」に関する研修への積極的な参加を促す。 ②ご利用者の気持ちに沿ったケアに努める。 ③ミニカンファレンスなど適宜実施し適切な利用者対応に努める。	12ヶ月
2	13	新人職員への指導方法や既存職員へのOJT方法などバラつきがあるため、統一を図る必要がある。	段階に応じた振り返りやオリエンテーションをしっかりと行い不安を解消する。	①指導する側・受ける側、双方に分かり易いオリエンテーションシートを作成しステップアップを図る。 ②段階に応じたOJTシステムを構築する。 ③定期的に話し合いの場を持ち「出来ていない事」「仕事上の悩み」など共有し不安の解消に努める。	12ヶ月
3	2	施設が行っている行事や各種活動を地域へと発信しきれていない。	地域との交流を今まで以上に密にしていく。	①ホームページや広報誌・回覧版などで施設の活動を継続的に発信していく。 ②ボランティアさんの積極的な受け入れを推進する。 ③「指月カフェ」など定期的に開催し地域の方の方へ情報を発信する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。